

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」												
実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
1須崎市	②学校と地域の課題	その他	令和6年度同様の目標を掲げ目標値を90%としていたところ、学校、推進員ともに90.9%であり目標達成となる。徐々に数値が改善されており、協働本部事業における効果を実感している学校や推進員が増加していることがわかる。この目標は令和5年度からはじめ、長期的には100%を目指していたものであり、今回目標値を100%とする。	学校運営協議会与連携し、地域の実情に沿った取組みを継続するとともに、各校独自の取組み等について共有する機会を確保するよう活動している。	地域との連携を深め、それぞれの学校に応じた活動を継続していく。	協働本部事業の実施により、地域の教育力向上及び地域の活性化につなげていく。	県が実施する取組状況調査の調査項目「地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につなげた」で、効果が得られた、ある程度効果が得られたと回答した割合。ある程度効果が得られたと回答した割合。	91	%	100	91%	2 県が実施する取組状況調査の調査項目「地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につなげた」で、効果が得られた、ある程度効果が得られたと回答した割合を目標の指標としている。その中で、目標値を100.0%としていたところ、学校、推進員ともに90.9%であり目標未達成となる。今回目標値を下回る結果となったが、ほとんどの学校で協働本部事業における効果を実感していることがわかる。この目標は令和5年度からはじめたものであり、長期的には100%を目指して活動していきたい。